

養護教諭の 資質能力の向上

北海道教育委員会



HOKKAIDO
BOARD OF
EDUCATION

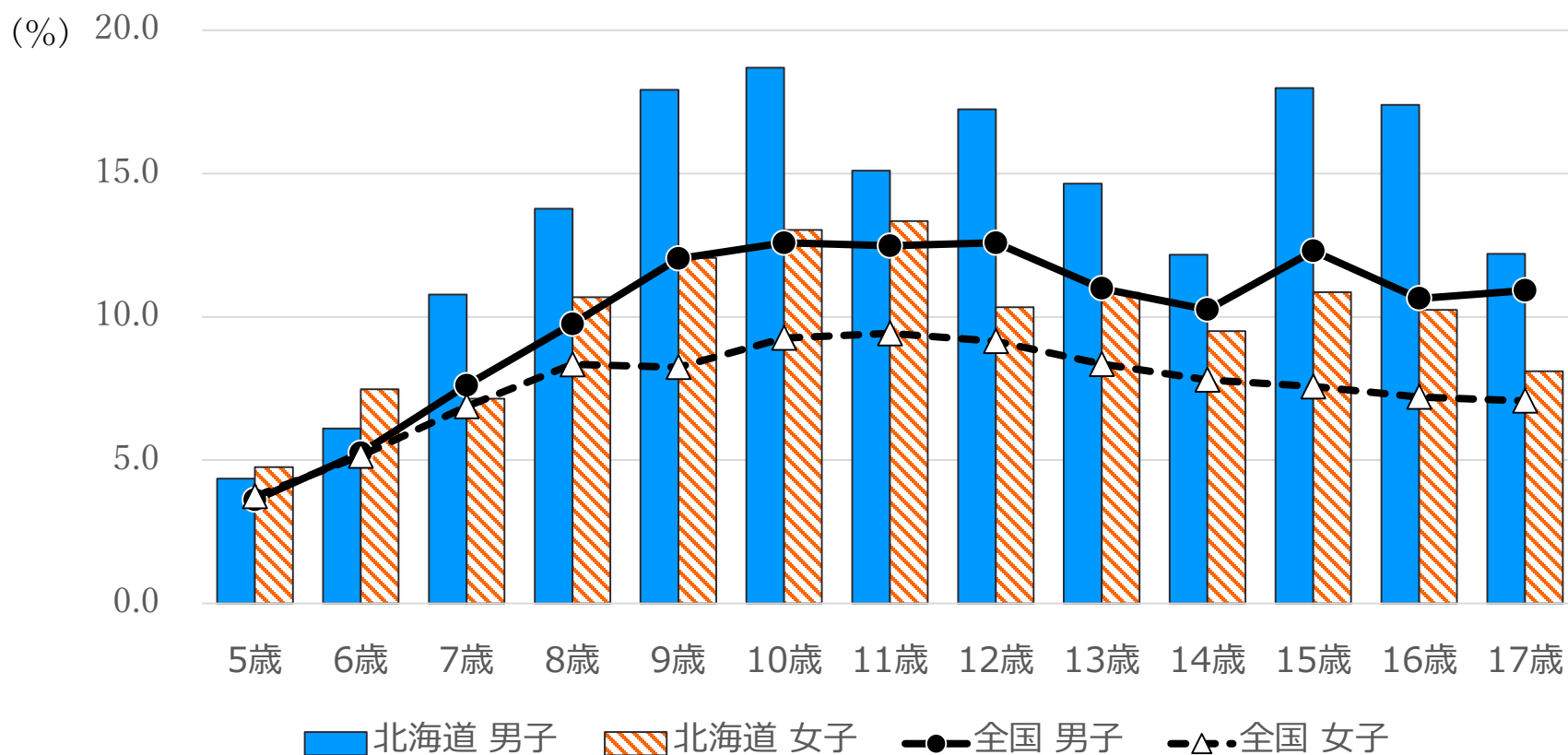


北海道の子どもたちの主な健康課題



体格の現状

肥満傾向児出現率



「令和3年度学校保健統計確報（北海道分）」
（北海道総合政策部情報統計局統計課）

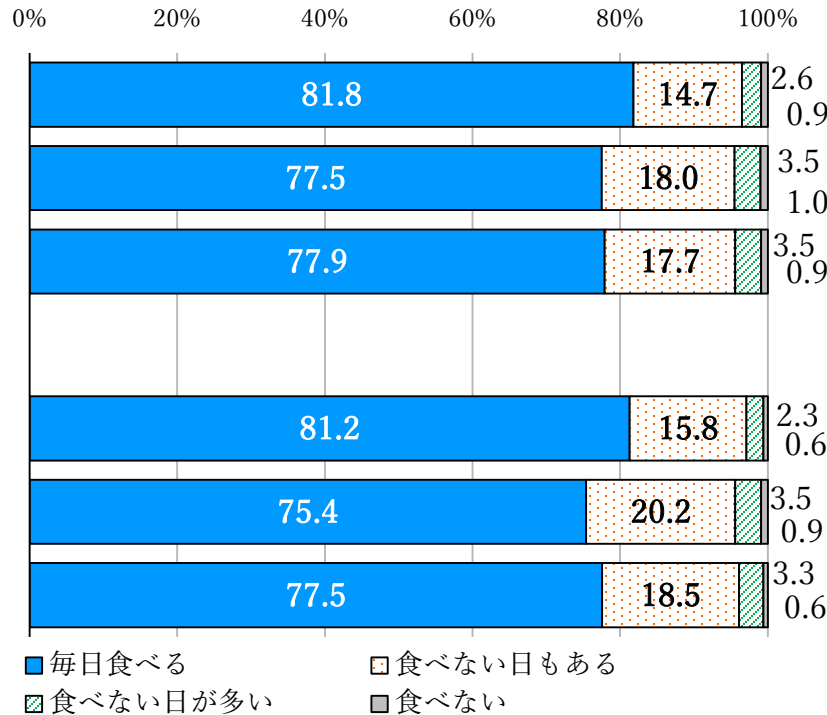
朝食摂取率（北海道）

朝食を毎日食べている（休日含む）

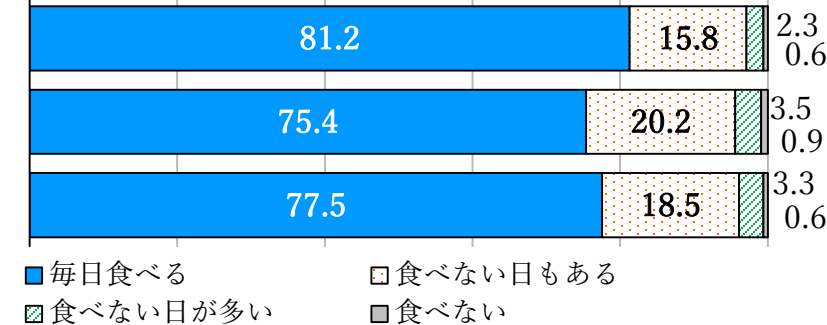
【小学校】

【中学校】

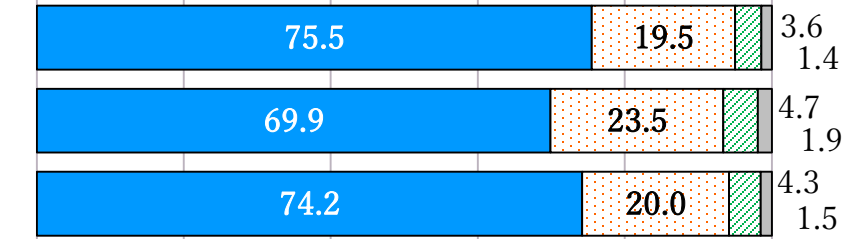
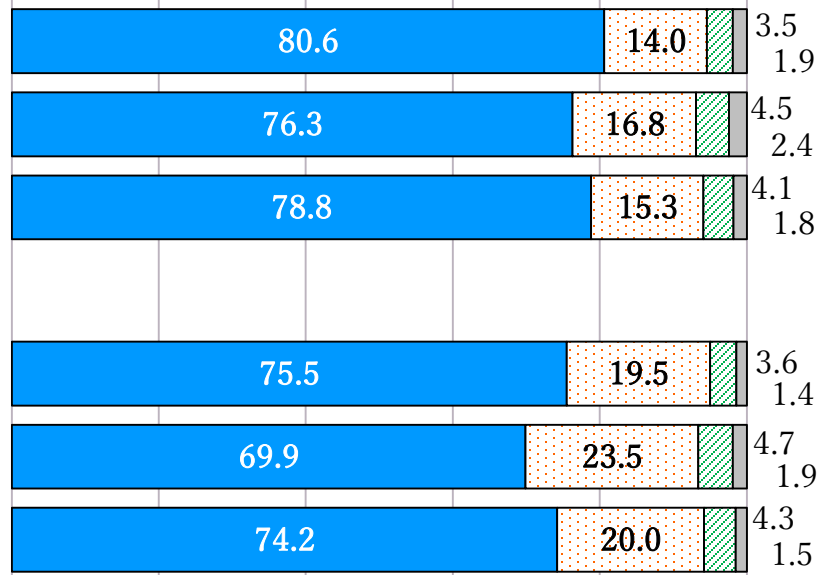
男子



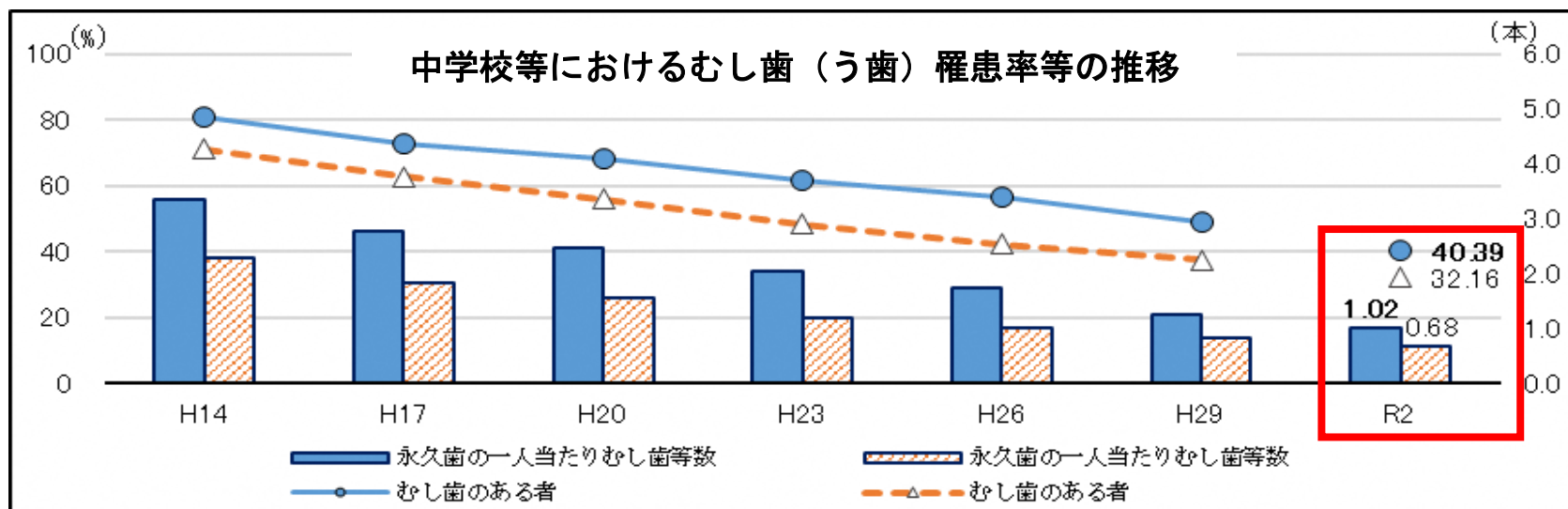
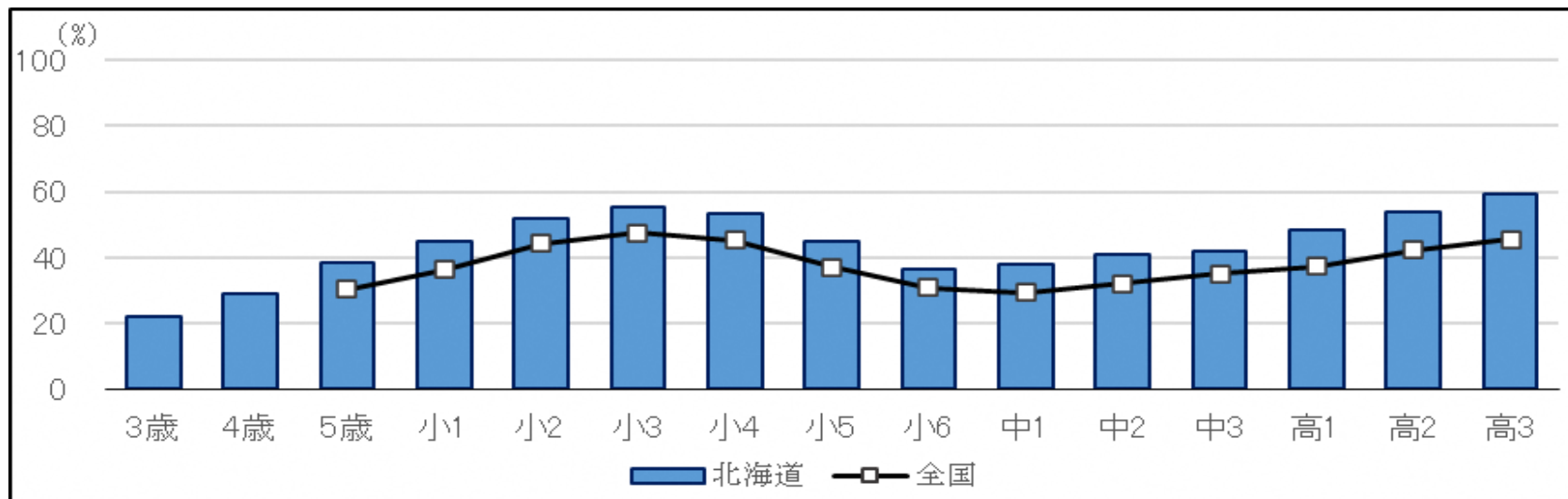
女子



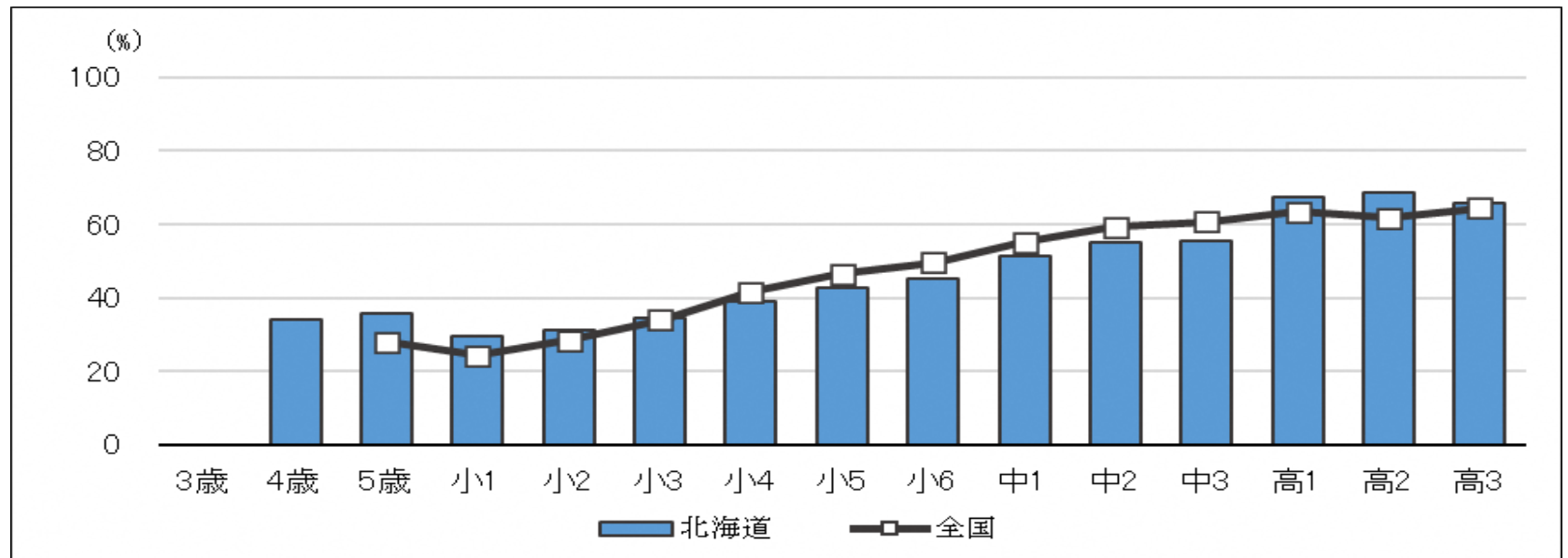
0% 20% 40% 60% 80% 100%



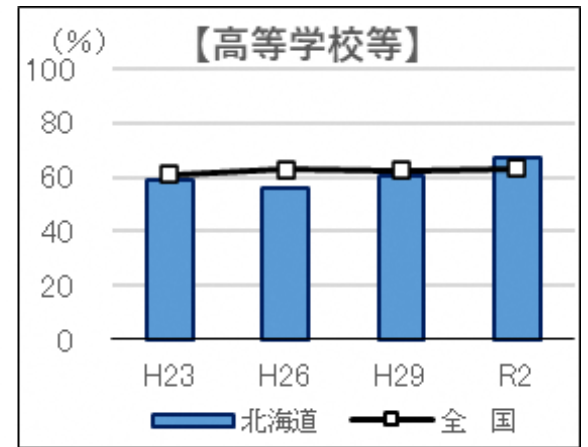
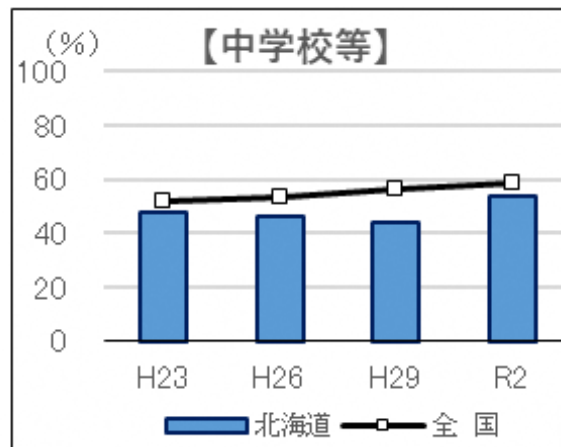
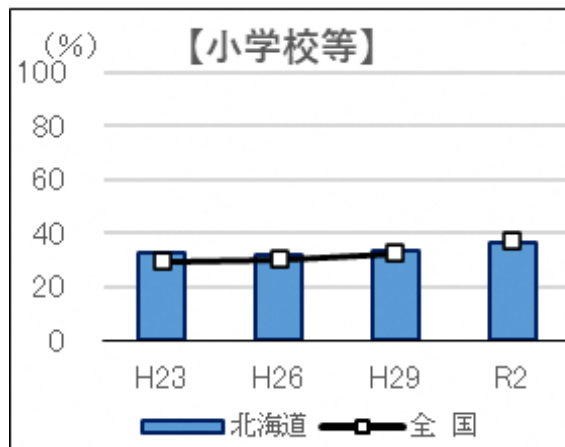
むし歯（北海道）



裸眼視力1.0未満（北海道）



裸眼視力1.0未満の者の割合の推移

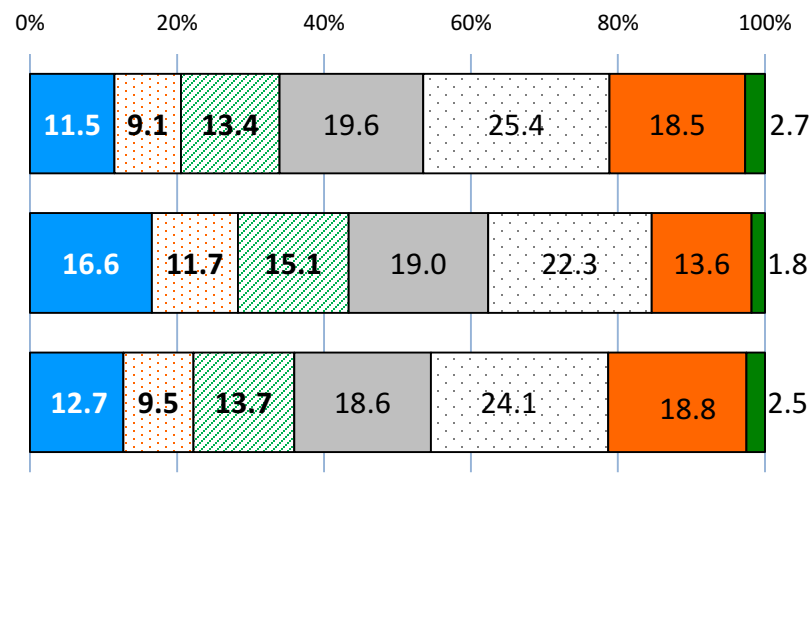
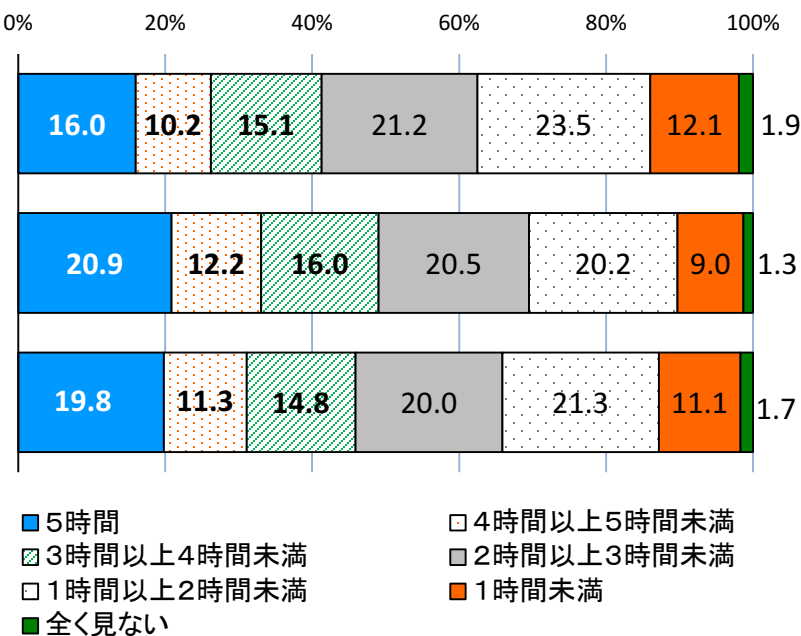


1日に画面を見ている時間（平日）

*画面：テレビ、DVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなど（学校生活を除く）

【小学校男子】

【小学校女子】

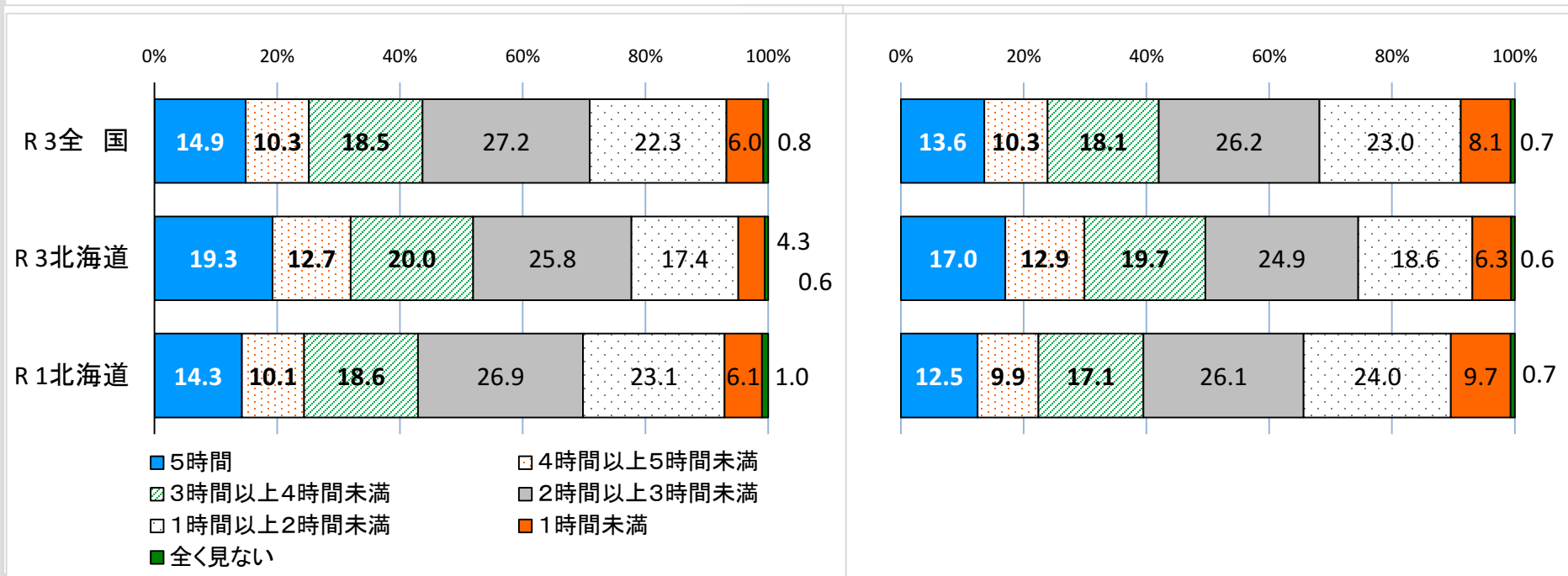


1日に画面を見ている時間（平日）

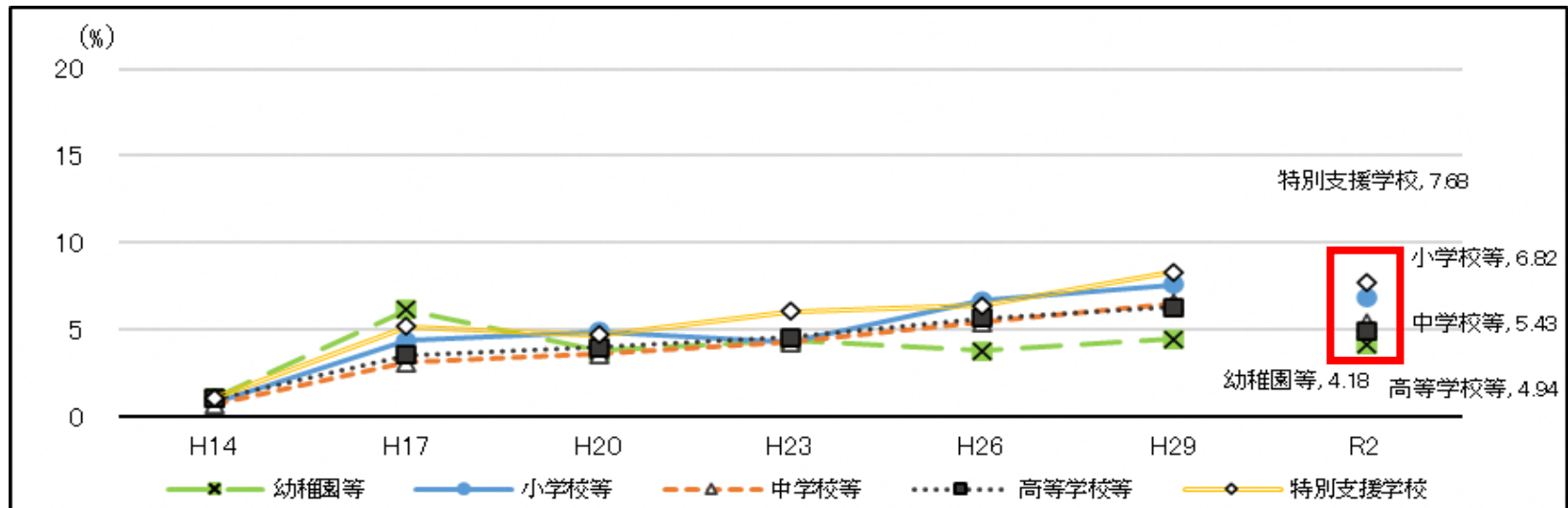
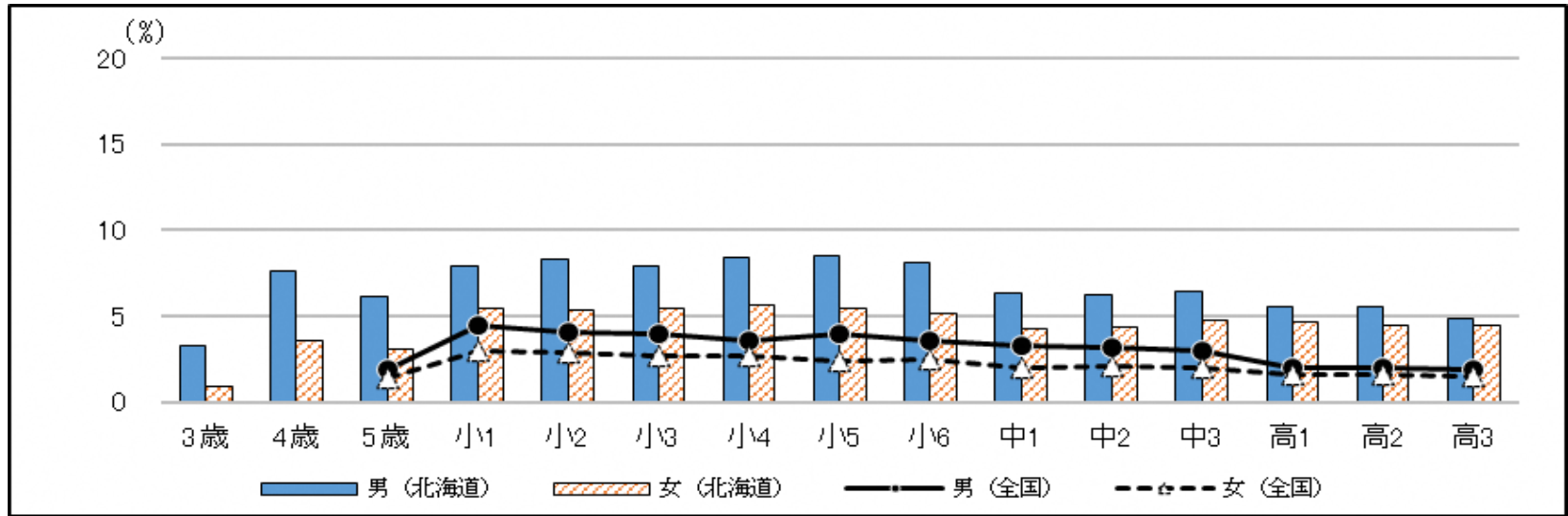
*画面：テレビ、DVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなど（学校生活を除く）

【中学校男子】

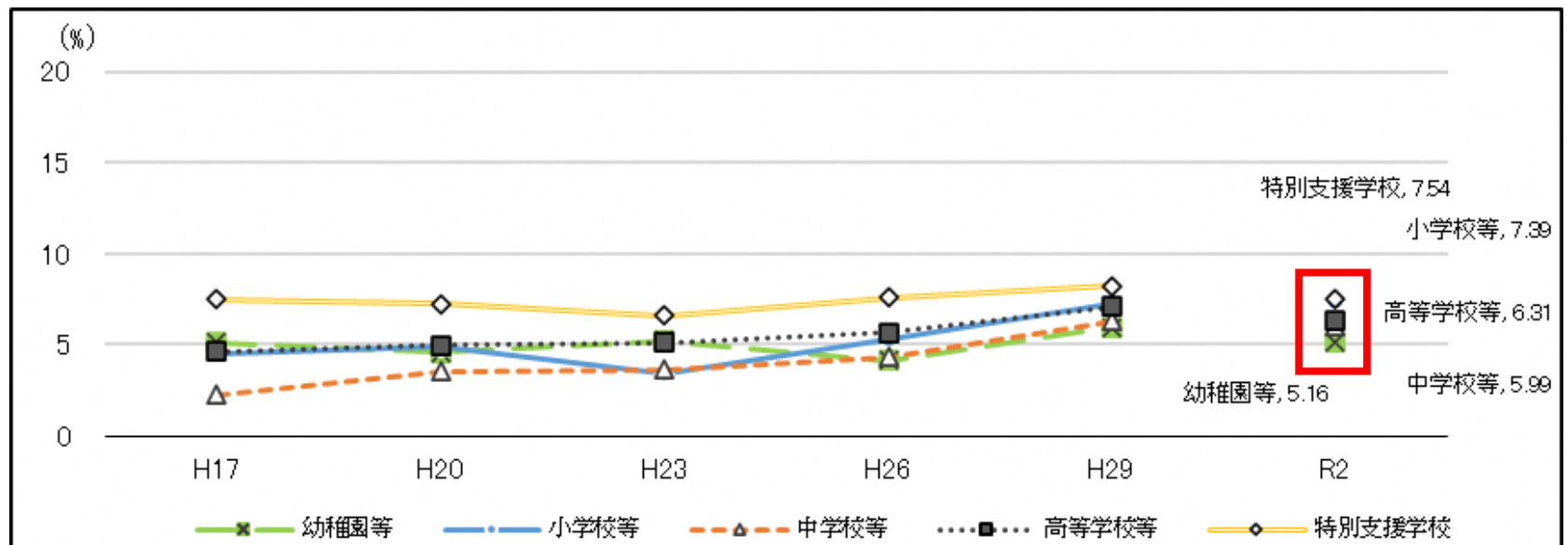
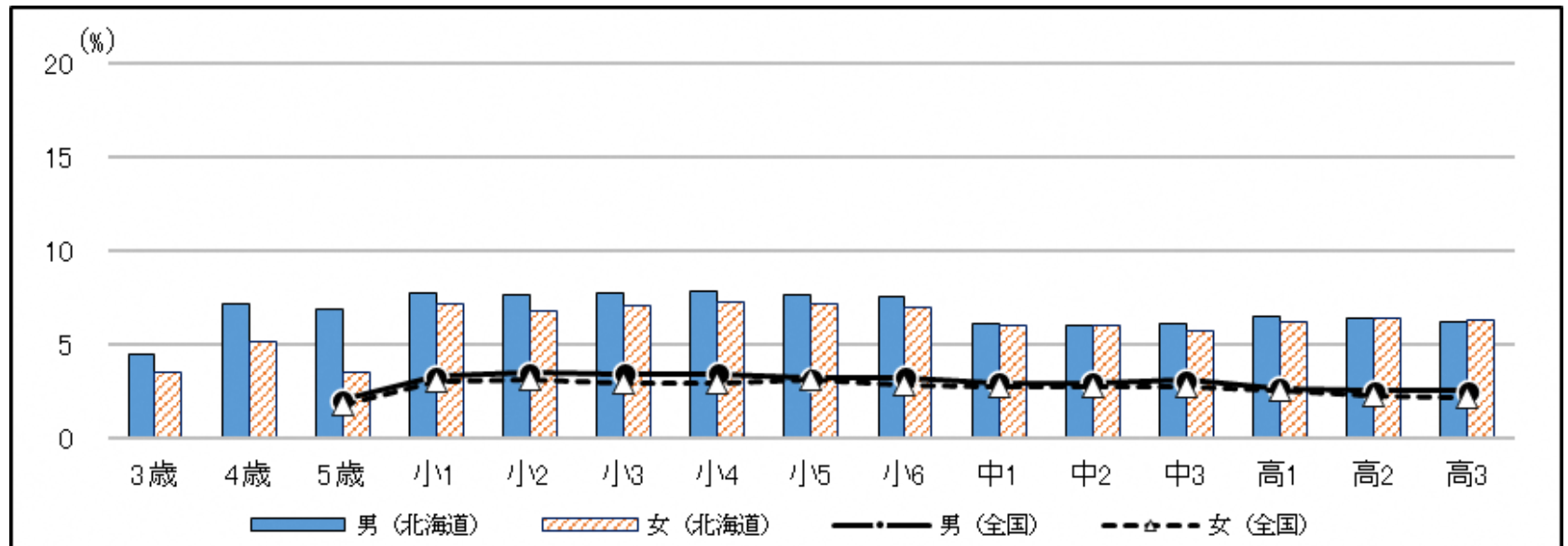
【中学校女子】



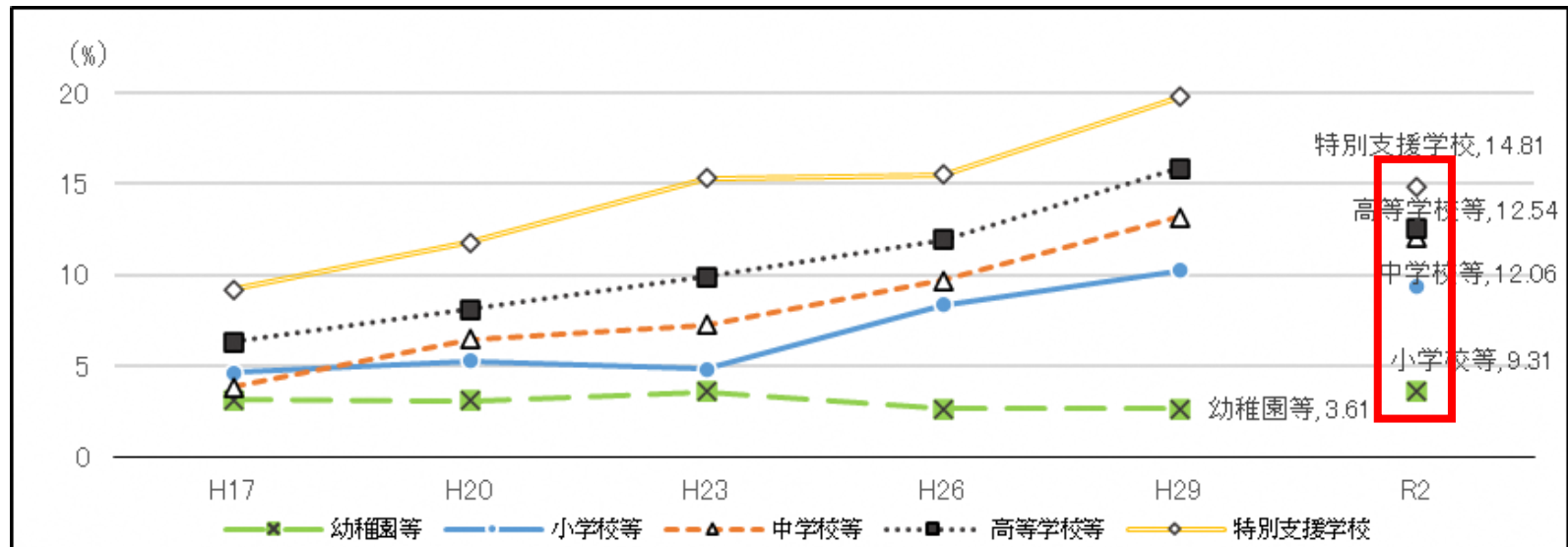
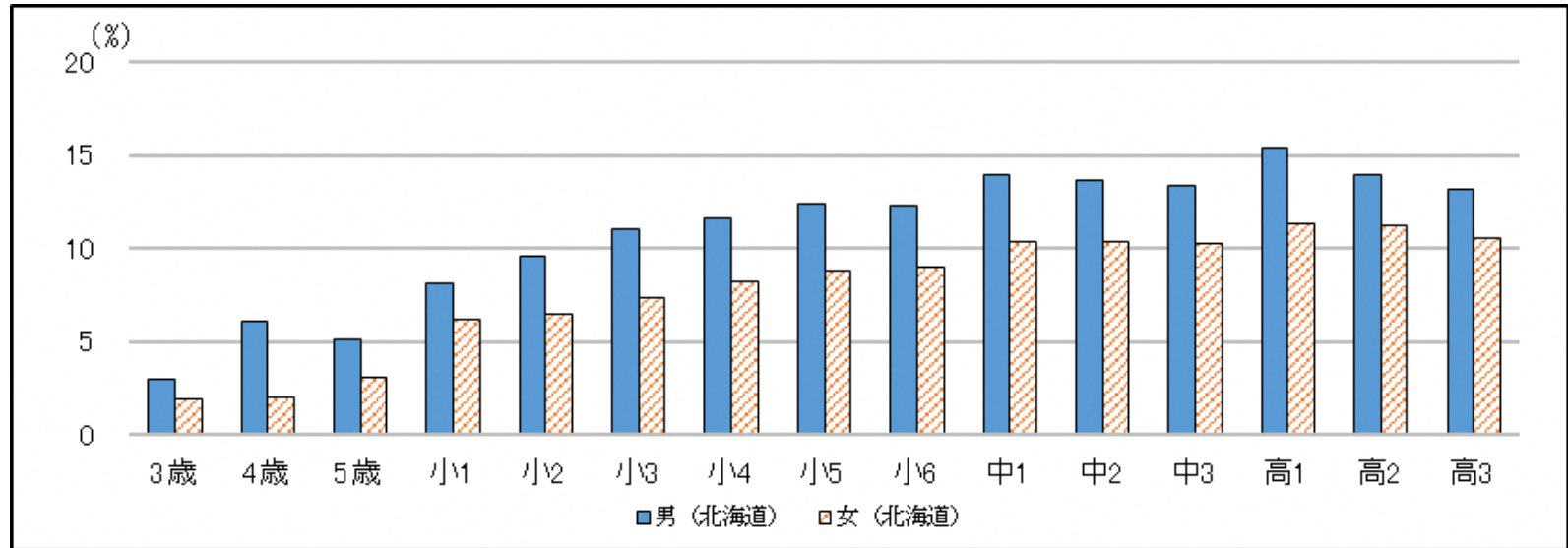
ぜん息（北海道）



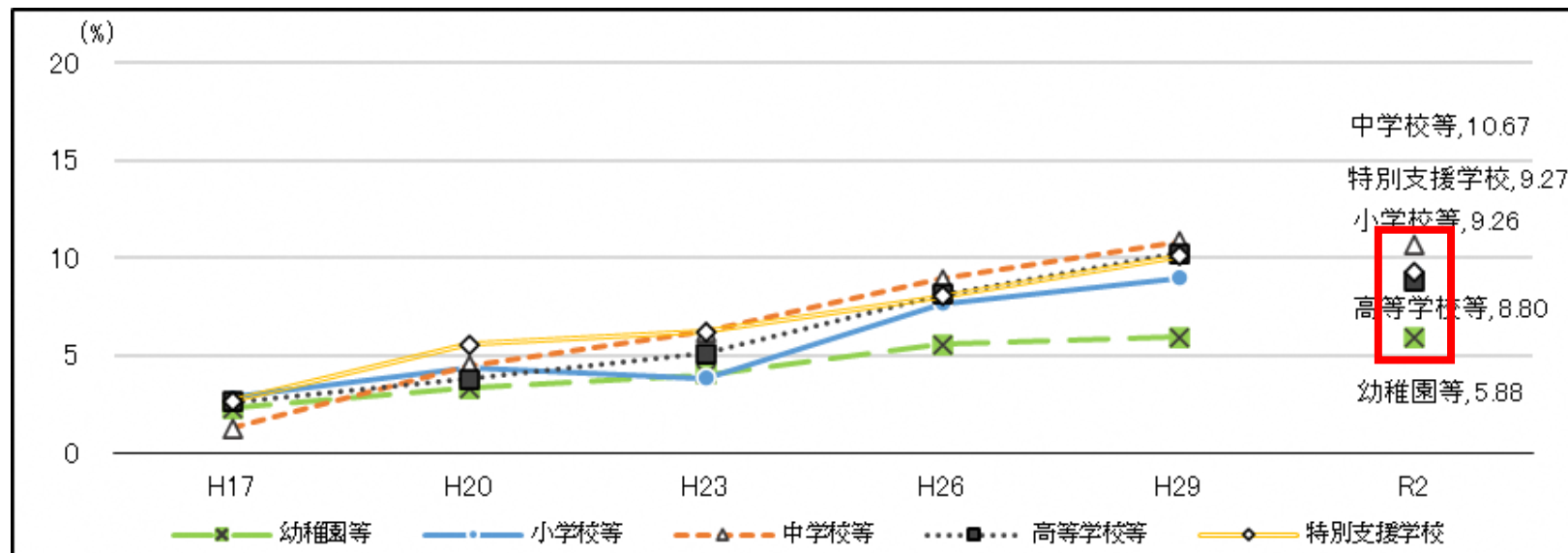
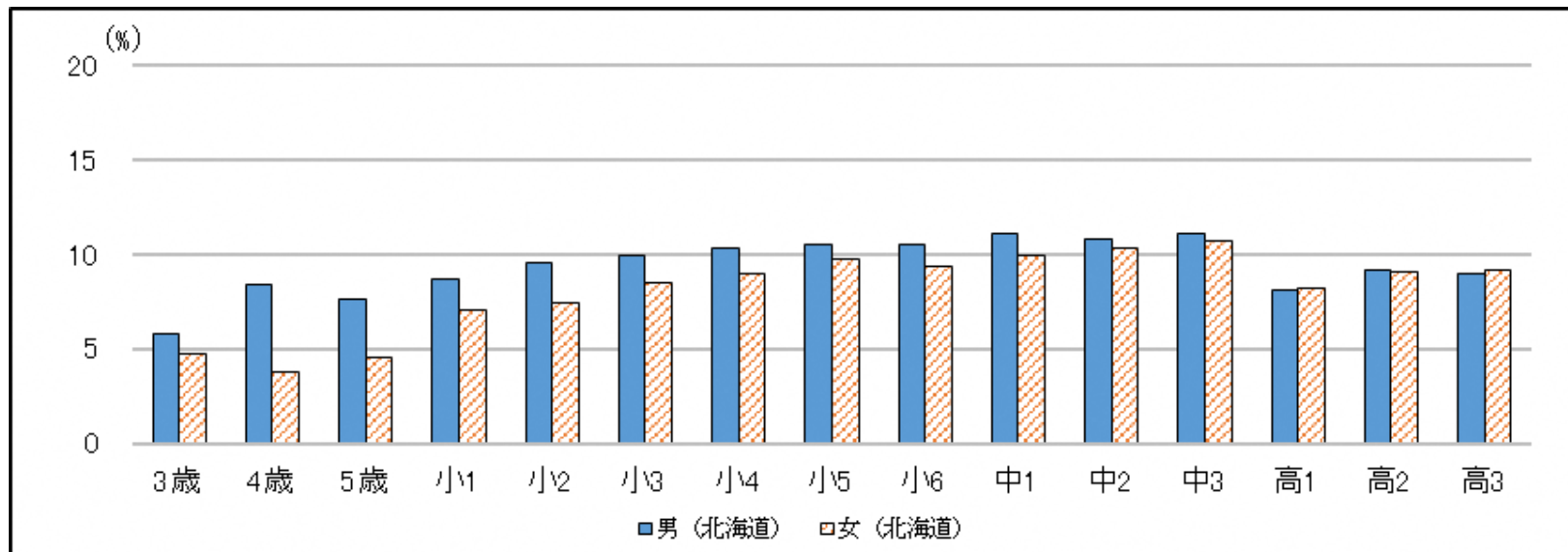
アトピー性皮膚炎（北海道）



アレルギー性鼻炎（北海道）



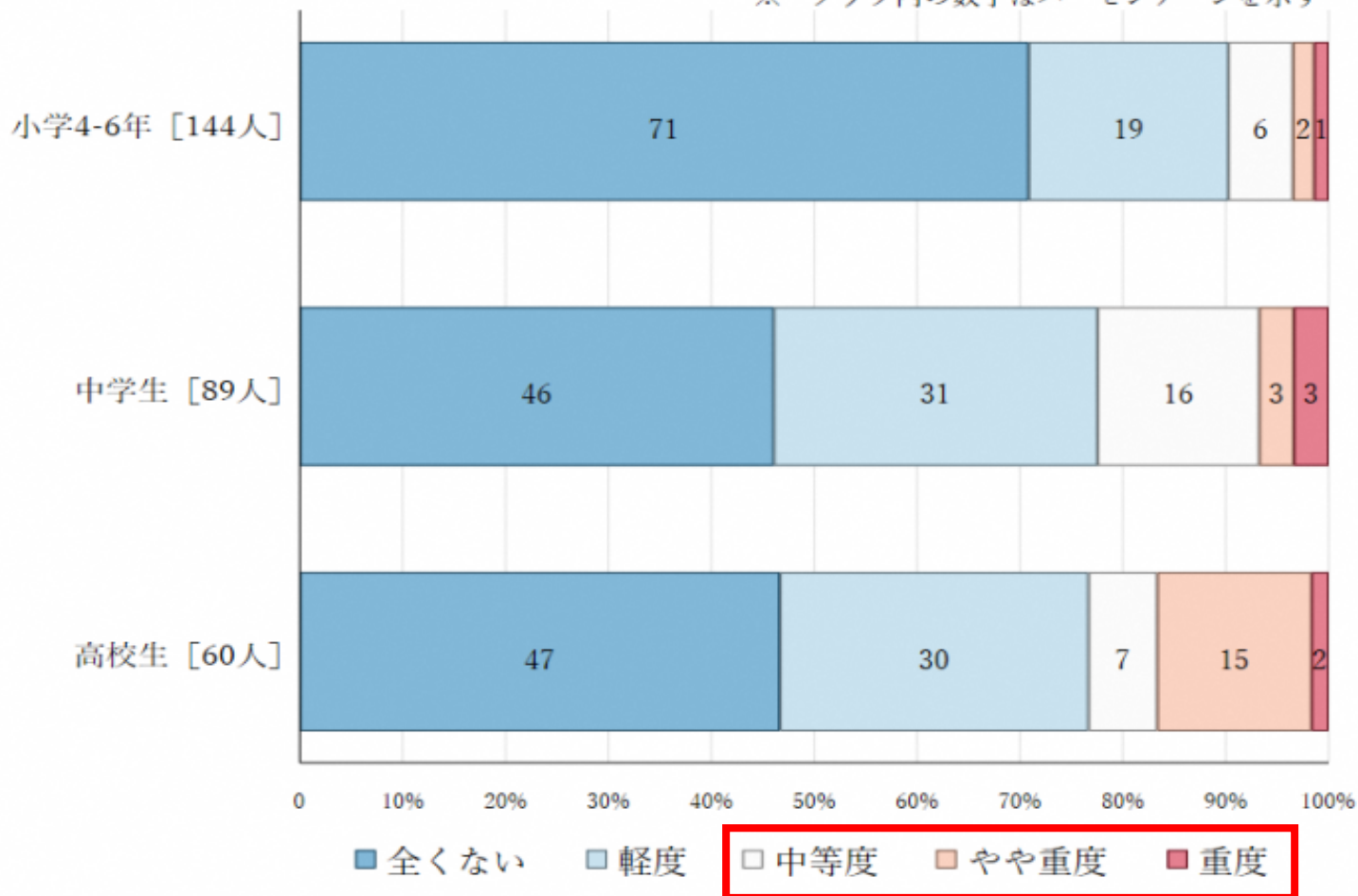
食物アレルギー（北海道）



中等度以上のうつ症状（全国）

こども

※ グラフ内の数字はパーセンテージを示す



「コロナ×こどもアンケート第7回調査報告書」
(2022年3月23日 国立成育医療研究センター)

北海道の子どもたちの**主な健康課題**

肥満傾向児の出現率が高い

むし歯の者の割合等が高い

裸眼視力1.0未満の者の割合が高く、増加傾向

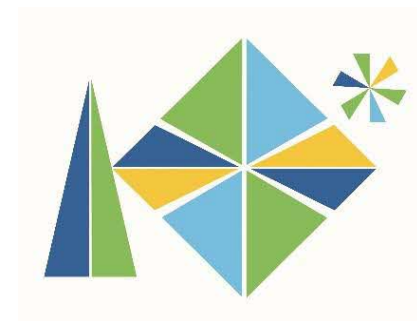
アレルギー疾患の被患率が高い

うつ症状や自殺率の増加など、メンタルヘルスの問題が懸念

望ましい
生活習慣の定着

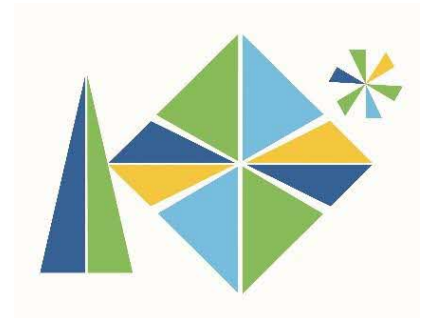
道教委として考える養護教諭に求める役割

- 児童生徒の健康課題の解決に向けた取組のリーダー的な役割
- 学級担任や教科担任、保護者、専門家をつなぐコーディネーターの役割
- 学校保健及び保健室経営の視点からの学校経営への参画



道教委としての施策

1. 養護教諭の資質能力の向上「**研修の充実**」
2. 北海道の地理的特性を踏まえた**健康教育の推進体制の促進**
3. 養護教諭**未配置校への対応**



1. 養護教諭の資質能力の向上 「研修」



【課題】

- 校内にメンターがない
- 地域で育成・支援するシステムがない（任意団体に任せている状況）

コロナ禍になり、

- 「集合」ではなく「オンデマンド」「オンライン」への移行の波
- 毎年100名程度採用している1年目の養護教諭が、地域の養護教諭と交流する機会がなくなり、孤立して退職に至るケースが散見

【研修方法の工夫】

- 講義形式⇒「オンデマンド」
- 実習や協議・演習中心⇒「集合」
 - ・感染症対策の徹底
 - ・4ブロックに分散
- 外部講師が会場に来られない⇒「オンライン」

オンデマンド動画 「救急処置」

何度でも見直せる



専門家による解説

シミュレーション
「熱中症」



一般教諭

養護教諭

教頭

生徒

集合研修 「救急処置」 質疑応答

事前に質問を考えてくる

会場で直接回答、または
オンライン（リアルタイム）
で回答



エピペン&AED
シミュレーション
実習

集合研修 「アレルギー対応」



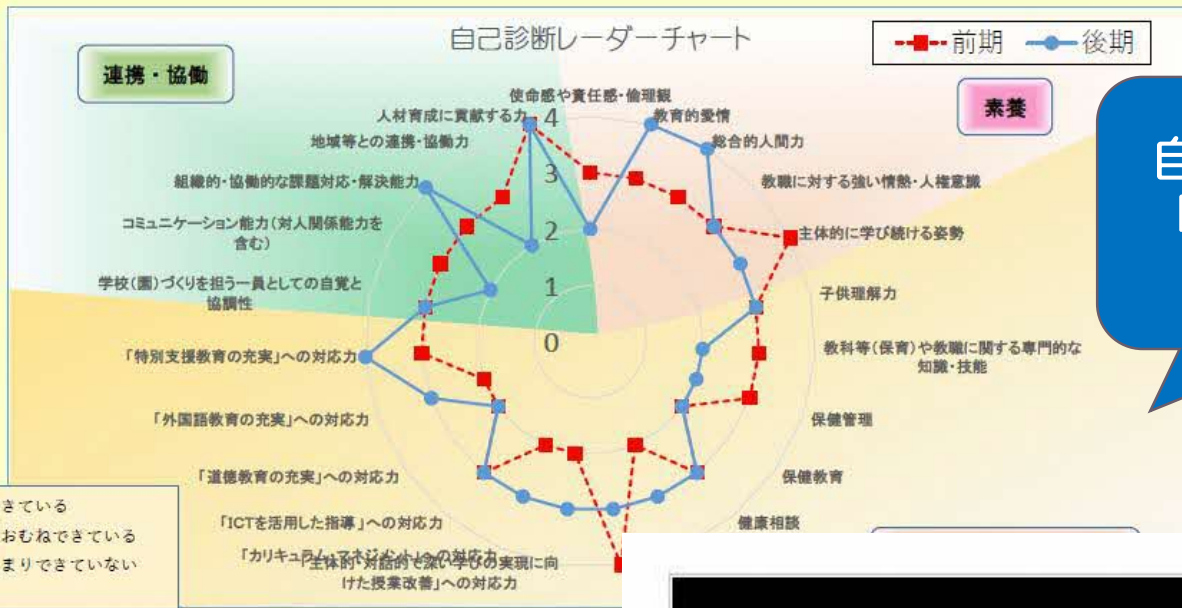
感染症対策の徹底
(協議中はフェイスシールド着用)

集合研修 演習「組織的に進める学校保健活動」



- グループ内でモデル校を選定
- 子どもたちの健康課題
- 学校や地域の特性
- 1年後のゴールの子どもたちの姿
- 課題解決に向けた取組

【前期と後期の結果比較】



自己診断シートで「強み」「弱み」を分析

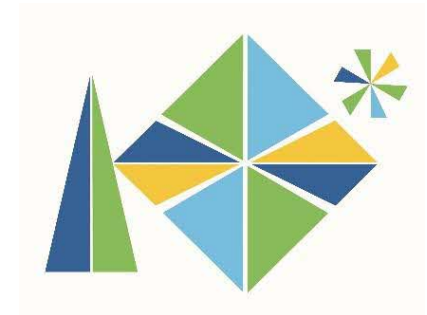
研修が必要な項目の動画を案内

校内研修シリーズ

学校における感染症対策の在り方

文部科学省初等中等教育局
健康教育・食育課
健康教育調査官
松崎 美枝

2. 北海道の地理的特性を踏まえた 健康教育の推進体制の促進



健康教育推進リーダー育成事業

課題

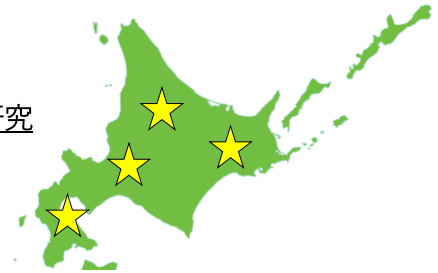
- ・北海道の子どもたちの健康課題として、朝食摂取率の低さやむし歯の有病率など生活習慣に関する課題に加え、一定程度の子どもたちに中等度以上のうつ症状があるなどメンタルヘルスの問題や新興感染症への対応など喫緊の課題があり、解決に向けた施策が必要。
- ・初任段階養護教諭が全体の約3割を占める北海道では、初任者が孤立してしまい退職に至るケースや、多くの学校が新型コロナウイルス感染症への対応に苦慮している状況があり、各地域で養護教諭を育成・支援するシステムが必要。

年間スケジュール

4月	リーダー選定 テーマ設定
5月	zoomミーティング①
5月～2月	初任研講師（1、2年次）
5月～12月	実践研究
7～8月	zoomミーティング②
10月	zoomミーティング③
12月	健康教育推進研修会（実践発表）
2月	zoomミーティング④
3月	成果普及（道教委HP等）

健康教育推進リーダーの取組

- ・ テーマ（北海道の子どもたちの健康課題）を踏まえた 実践研究
- ・ 健康教育推進研修会での発表
- ・ 初任段階養護教諭等研修の 講師（1、2年次）
- ・ 翌年度、自校での取組継続、アドバイザー



健康教育推進リーダー

期間：原則1年間
対象：初任研修了者
国の研修会参加者
道研修会の講師等
各校種1名、計4名

実践研究のテーマ

- ・ 生活習慣（生活リズム、スクリーンタイム、歯、目、食等）
- ・ メンタルヘルス
- ・ 感染症 など

健康教育推進研修会

R4：道央
R5：道南
R6：道北
R7：道東

【研究の重点ポイント】

健康に関するデータを活用した個に応じた指導、専門家との連携、ICTの効果的な活用、SDGs

R4
～
R7

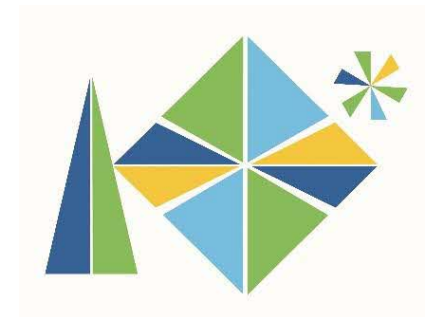
- ・ 各ブロック各校種1名リーダー育成
- ・ 健康教育に係る研修会に参加した学校100%

- ・ キャリアステージに応じた養護教諭の学びの充実
- ・ 全ての学校で効果的な健康教育を実践

- ・ 朝食摂取率 ↑
- ・ むし歯の有病率 ↓
- ・ 自己肯定感 ↑

R13
(10年後)

3. 養護教諭未配置校への対応



【令和3年度】

- 養護教諭未配置校：49校
- スクールヘルスリーダー：11人
- 配置校数：18校（1人当たり平均1.6校担当）
- 協議会において学校保健の動向を伝達（年1回）

⇒より充実させるために

- スクールヘルスリーダーの確保（退職養護教諭への周知）

今後の展望

- 学校保健・体育・給食担当係及び家庭教育担当課と連携した望ましい生活習慣の定着に向けた施策の検討
 - ・ 養護教諭、栄養教諭、保健体育科教諭の研修の一部一体化
 - ・ 養護教諭、栄養教諭、保健体育科教諭のリーダー育成事業
 - ・ 家庭教育担当課（早寝・早起き・朝ごはん運動等）と関連を図った取組の検討
- 個々の課題を把握し、課題に応じた多様な学びができる研修の充実
- 養護教諭のキャリアステージに応じた学びの充実
 - ・ 学校経営に係る研修への参画 など

